



《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆5月の鉱工業生産0.5%上昇、2カ月連続プラス 輸送機械がけん引

・経済産業省が発表した5月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は103.0となり、前月から0.5%上がった。上昇は2カ月連続。航空機用発動機部品の生産が伸び、自動車除く輸送機械工業がけん引。全15業種のうち7業種が上昇し、8業種が低下した。生産の基調判断は前月の「一進一退」を据え置いた。

◆5月の有効求人倍率1.17倍、2カ月ぶり低下 完全失業率は横ばいの2.5%

・厚生労働省が発表した5月の有効求人倍率(季節調整値)は1.17倍と前月から0.01ポイント下がった。低下は2カ月ぶり。物価高騰や省人化により新規求人数が減った。中東情勢の悪化に伴い石油関連産業での減少が目立った。総務省が同日発表した5月の完全失業率(季節調整値)は2.5%と前月から横ばいだった。

◆9月の食品値上げ3029品目に 冷凍食品・すりみ商品など、年間最多

・帝国データバンクは9月の飲食料品の値上げ品目数が3029品目になる見通しだと発表。2026年では最多で、3000品目を超えるのは25年10月(3161品目)以来。中東情勢の悪化により、トレーやフィルムといった資材価格や原材料高が目立っており、それを販売価格に転嫁する動きが広がっている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設業の退職金増額へ 予定利回り1.5%に引き上げ、厚労省方針

・厚生労働省は建設業の退職金を増やすため、予定運用利回りを現行の1.3%から10月に1.5%に引き上げる方針を固めた。建設従事者は複数の勤め先を渡り歩くことが多く、退職金の積み立てが難しい。このため国が公的な仕組みとして「建設業退職金共済制度」を用意。事業者が納付した掛け金を運用し、退職金に上乗せする。

◆エンジンオイル不足、スズキ4割値上げ 調達も拡大し長期化に備え

・スズキが販売店向けのエンジンオイルの卸値を7月から4割上げる。米国とイランによる戦闘で石油関連施設が損傷し、復旧に時間を要している。スズキは仕入れ先である出光興産から別の油種の調達も決め、オイル不足長期化に備える。仕入れ値の上昇分を吸収して、据え置く販売店もあれば、顧客に対して値上げに踏み切る販売店もある。

◆5月着工、5.8万戸 年率換算値は75.7万戸で5カ月ぶりに増

・国土交通省が公表した5月の新設住宅着工戸数は5万7877戸(前年同月比33.9%増)で、2カ月連続で増加。一部では資材の価格上昇や調達への懸念も聞かれたが、中東情勢の影響はまだ深刻化していないとみられる。季節調整済み年率換算値は5カ月ぶりに増加し、75万7000戸(前月比4.6%増)。

《 注目商品 》

■アイカ工業、造作風洗面化粧台に3種のボウル追加

・オーダーメイドのような高い自由度で、好みの洗面空間を実現できる造作風洗面化粧台に新しい洗面ボウルを追加。「スマートサニタリー」には、フラットな底面と十分な深さを両立し、カウンターとの段差がなく手入れが簡単な「シームアンダー深型ボウル」をラインナップ。



■LIXIL、循環型素材採用の人工木デッキ

・再資源化が困難な廃プラスチックと廃木材を融合した独自技術の循環型素材「revia(レビア)」を採用した人工木デッキ。木を彫ったような凹凸による美しい陰影と不均一で心地いい木質が特長。カラーは、ライトブラウン、ダークブラウン、グレーの3色。



■永大産業、天板・パネル厚10mmのキッチン

・ワークトップとサイドパネルの厚みを10mmまで薄くしたノイズレスデザインの新キッチン。ワークトップはステンレス、メラミン、セラミック、人造石の4種類をラインナップ。ワークトップと扉を同柄で統一できる「キューブスタイル」に対応し、より一体感のあるデザインを実現。

